

速報！Web アンケート調査中間報告（5月15日公開）

テレワークといっても、家に居ると家事や子ども達との時間を優先するので、なかなか仕事はかどらない。(40代)

子ども達はオンラインだのズームだの大変そうです。(50代)

動画やオンラインでのビデオ通話のようなものが重視されがちであるが、小さい子どもを持つ家庭ではそのような時間や機会を持つことも難しいのが現状。動画による講演を見るにはある程度まとまった時間が必要。活字による情報であれば、少しの間隙時間でも読むことが可能であり、ハードルも高くない。(30代)

派遣切りなどの心配がある。(50代)

感染症に対する早期教育や、感染源になり得る責任などの知識を、みんなが共有する手立てを、自粛警察以前に、心に訴え広める方法をみんなで考えられるとよい。(70代～)

テレワークや、オンラインでの会議やミーティング、講座などがこれを機会に増えていけば良いと思う。対面での話は感染の恐怖が生まれやすい。(50代)

これを機会に仕事内容も学校行事も最低限に見直すと良い。(50代)

在宅勤務を初めて体験したことにより、今後平時での働き方を考える良いきっかけになった。(40代)

これを機会に、感染症に対する向き合い方の講座などを考えて頂きたい。(防災講座のように、備えあれば憂いなしとしたい)(70代～)

医療現場で働く人達には感謝でいっぱいです。(50代)

マスクを作って送ってくれた義母や妹の優しさをはじめ、周囲の人の優しさに触れて、感謝の気持ちが強くなった。(30代)

とにかく仕事ができない事です！(50代)

職探しが難しくなった。(20代)

在宅勤務で始業前の2時間を自由に使えるようになったため、睡眠時間が増え、家事を朝のうちに済ませられるのでプライベートの時間にゆとりが生まれました。仕事をテキパキと終わらせてスキルアップのための勉強に取り組む余裕もできました。元の生活に戻るこのほうが不安です。(40代)

家での家族との会話が増えた。日頃できなかった整理・片付け（断捨離など）をすることで、すっきりした。(50代)